

## 第 332 回 IEC 研究会議事録

日時：2018 年 10 月 14 日（日）13:30-17:00

場所：西宮市民交流センター G 会議室

司会：江見

書紀：森際

出席：高橋・江見・中西・矢島・西本・岡田・森際

欠席（届出）：田中・河野・広田・米田

内容：

1.会務（諸会連絡・報告、情報回覧等）および、その他

今まであったもの：

SSS2018 情報処理学会

プログラミング教育に関する話題が活況を帯びていた

関西での CE 研，次回は 3 月 2 日・3 日 京都情報大学院大学

今後のもの：

情報コミュニケーション学会第 14 回 11 月 24 日（土）

IEC 共催

ワークショップ 高橋先生 江見先生

日本情報科教育学会 第 11 回研究会 広島大学 11 月 4 日（日）

その次 12 月 23 日（日）？

IEC 例会 今後の予定

第 333 回 11 月 11 日（日） 京都情報大学院大学（百万遍）

第 334 回 12 月 2 日（日） 匠工房（四ツ橋）

その後忘年会

沖縄フォーラム 12 月 26 日（水） 沖縄国際大学

第 335 回 1 月 13 日（日） 大阪大学（豊中キャンパス）？

第 336 回 2 月 10 日（日） 大阪大学（豊中キャンパス）？

第 337 回 3 月 10 日（日） 京都光華女子大学短期大学部 10:00～17:30（幹事会込み）

年間スケジュールと開催場所について確定できれば、参加しやすくなるのでは。

役員と相談 部会ごとの開催も検討

沖縄フォーラムについて（高橋先生）

ICT と情報教育 4 件発表 + 鹿野先生の話  
資料発表  
情報モラル・情報倫理 3 件 + 高橋先生講演  
座長は前半後半別で、現地で調整  
参加者を 2~3 人勧誘しよう。入会勧誘も含めて。

## 2.研究発表等

自由枠：

1. アクティブラーニングによる災害に役立つアプリ設計のワークショップ（江見先生）  
11 月 24 日の情報教育合同研究会ワークショップの内容について

私からの提案

数学ができるとは 具象と抽象の世界の抽象のみ  
人工知能に勝てる人間をつくるには、 具象と抽象の両方を鍛えるべき

統合的（総合ではなく）な教育

数学教育 & 情報教育 & 科学教育

数理情報教育の別なとらえ方

モデル化・デジタル化・アルゴリズム

ワークショップでは・・・

英語教育とプログラミング教育の対比

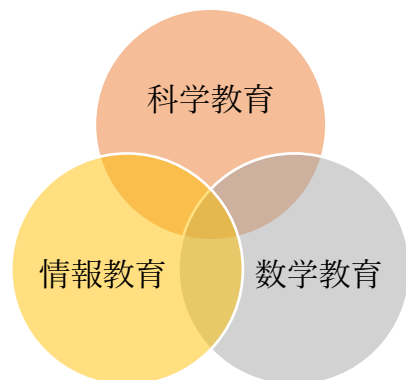
だれでもできる vs できる人だけ

国語・数学 美術・音楽

理系研究者、技術なら・・・プログラミングが苦手だと最先端で苦労する

プログラミング → 今回は災害に役立つアプリを設計しよう

災害に役立つ情報のヒントを検討、台風・大雨・地震を想定、その中の種別を分類し、事前予測の難易度を含め、欲しい情報を検討していく。アプリ設計のポイントを押さえ、情報量をスマホで見える程度で設計。



デジタルでのアクティブラーニングはどうすれば？

アナログ（模造紙・付箋等）をどう置き換えるか

問題点の分析から、解決方法を考えるワークショップ

次回の研究会でも時間配分を検討しつつ、内容をブラッシュアップする。

以上